

元町だより

令和7年3月吉日
京都市立元町小学校
校長 日坂 光男



3月特別号

令和6年度 第2回学校評価のご報告

花の小さな蕾に春の訪れを感じるこの頃です。日頃は本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。1・2月に実施した「学校評価保護者アンケート」「元町っ子アンケート(子ども)」「教職員自己評価」の結果を総合的に分析して、今後よりいっそう推進すべき点や改善点について考察しました。限られた紙面ではありますが、以下に、ご報告させていただきます。

学校教育目標

自ら考え、夢や目標に向かって、積極的に行動する子の育成
～進んでチャレンジし、対話を通して学びを深める元町っ子～

目指す子ども像

「も」もっと学びたいと思える子ども
「と」ともだちを大切にできる子ども
「ま」まいにち笑顔で過ごせる子ども
「ち」チャレンジしながら、考えて話せる子ども

概要

本校では、「自ら考え、夢や目標に向かって、積極的に行動する子の育成」という学校教育目標を受け、今年度は「主体的・対話的で深い学びの充実による『対話力』『問題解決力』の育成」という研究主題で教育活動を進めてきました。昨年度に、引き続き「対話力」を重点に置きながら、あわせて「問題解決力」にも力を入れて、「進んでチャレンジし、対話を通して学びを深める子ども」を目指して、色々な教科学習や学校生活の様々な場面で取り組んでまいりました。

子ども対象の「元町っ子アンケート」は、今年も全学年オンラインで回答しました。多くの項目で80%以上が「できている」と答えています。しかし、第1回の結果より低くなった項目もあります。詳しくは、裏面にて報告しています。

保護者の「学校評価アンケート」は、回収率が78%でした。昨年度よりは、回収率は良くなっていますが、第1回目よりも回収率が下がってしまいました。アンケートをお願いする時期を昨年度は12月末でしたが、今年度は、1月末から2月中旬としたことで、学校行事など全体を見通して答えていただけたのではないかと思います。第1回に引き続き、全体を通して、ほとんどの項目で実現度は80%以上でした。自由記述欄には、多くの色々な意見をいただきました。今後も学校と保護者が学校教育目標に向かって、協力し合って子どもたちの心身ともに健やかな成長を目指していきたいと思います。

「教職員自己評価」については、多くの項目で実現度は80%以上でしたが、実現度が低い項目もありました。全教職員が同じ姿勢で学校教育目標の具現化に取り組んでいきたいと思います。

今回の学校評価の結果やいただいたご意見などについては学校運営協議会でも取り上げて話し合いました。今後も皆様のご協力をいただきながら、一人ひとりの子どもを大切にした取組をしていきたいと思います。お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

○学校評価(子ども・保護者・教職員)の結果

実現度は『よくできている』・『だいたいできている』を
合わせた数値

		質問項目	子ども実現度		保護者実現度		教職員実現度	
			R6①	R6②	R6①	R6②	R6①	R6②
学校生活	1	学校で楽しく過ごす	94%	92%	95%	89%	93%	99%
	2	進んであいさつをする	91	89	88	85	93	93
	3	夢や目標に向かってチャレンジしようとしている	87	84	85	84	100	100
(確かな学力)	1	授業中に学習のルールを守る	91	89			100	100
	2	授業や帯時間の学習に集中して取り組む	87	85	88	80	92	84
	3	家で宿題や自主学習などに進んで取り組む	90	89	83	69	100	100
	4	本をよく読む	76	60	62	53	91	77
(豊かな心)	1	誰とでも仲良くする	90	93	97	95	92	92
	2	相手の思いや考えをよく聞こうとする	87	92	94	86	85	100
	3	相手の気持ちを考えて行動する	92	94	94	93	84	100
	4	たてわり活動で楽しく活動する	90	90	97	90	100	100
(健やかな体)	1	自分の体や心を大切にする	94	90	100	99	100	100
	2	生活リズムや歯磨きなど健康に気をつける	90	85	92	87	92	100
	3	進んで外遊びや運動をする	86	86	83	84	84	93
	4	安全に気を付けて過ごす	98	96	97	94	96	97
(学校独自の取組)	1	興味をもって学習に取り組んでいる	83	87	77	75	100	100
	2	友だちと話すことで考えを深めている	84	89			100	100
	3	課題や問題に自分から進んで取り組む	80	80			92	88
	4	タブレットを活用する	91	93	88	92	84	100

<学校生活>

どの項目も、前回よりも少しづつ下がる結果となりました。しかし、学校で楽しく過ごしている子どもは、前回同様、90%以上いました。多くの子どもたちは、楽しく学校生活を送っている様子が伺えます。

今回のアンケートの結果、「夢や目標に向かってチャレンジしようとしている」の項目において、実現度が80%台と他に比べて低い値となっています。本校では、目標に向かって取り組む習慣をつけるために、毎月の目標を設定し、振り返る「キャリアデザインシート」を書いています。月初めに目標を設定し、月の終わりには、目標達成がどうであったかを振り返っています。自分の課題については、目を向けて、取り組もうとする子どもが増えていきます。しかし、自分の成長や良さにまではなかなか目が向けられない子どももいます。課題だけではなく、がんばったことや自分の良さを感じられるようにできると、自分に自信がついてきます。その自信があれば、またさらに夢や目標に向かってチャレンジしようという意欲につながると思います。子どもたちの良さやがんばりを認めていき、自己肯定感を高めていければと思います。

<もっと学びたいと思える子ども>

どこの項目も、前回よりも少しづつ下がる結果でしたが、特に、「本をよく読む」は10%以上も下がる結果となっていました。2学期は、運動会、学習発表会、元町っ子マラソンがあり、休み時間に打ち合わせや練習などがあったため、休み時間に図書室に行く機会が減ったことも一因だと考えられます。学校行事の取り組みやたてわり活動、からだを動かすこと、どれも大切なことです。本に親しむ機会を休み時間だけではなく、他の時間にも設定できるようにすることも効果的であると考えます。各学年の教室に、図書室から色々な本を借りて自由に読むことができる環境を作ることもよいと思います。いろいろな本に触れ合い、様々な考え方や広い視野をもつことを育んでいくことができるように取組を検討していきたいと思います。

<ともだちを大切にできる子ども>

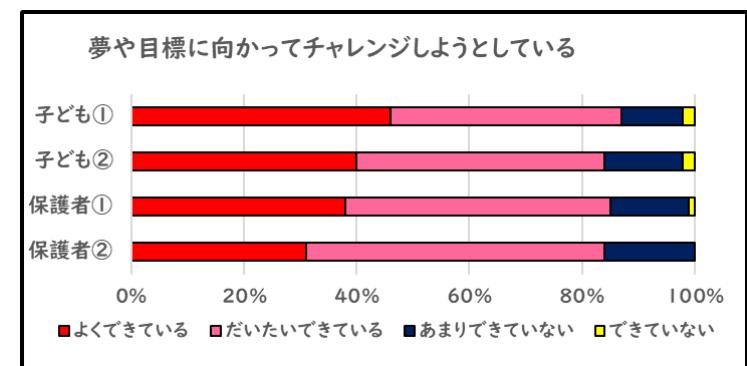
3つの項目で、子どもたちの実現度は前回よりも高い値となりました。子どもたちは、友だちを大切にし、仲良く活動しようとしています。今年度は、毎月たてわり遊びを実施し、毎学期ごとにたてわり掃除も行いました。異学年と関わることが増えたことで、「相手の思いや考えもよく聞こうとする」意識も高まったのではないかと考えます。教職員からも子どもの成長を育むことにおいて、たてわり活動は有効であるという意見が多数出ています。

次年度もたてわり活動を定期的に行い、色々な子どもと接する機会を増やしていければと思います。

<まいにち笑顔で過ごせる子ども>

子ども、保護者の実現度は、前回よりも少し下がった結果となりました。「生活リズムや歯磨きなど健康に気を付ける」の実現度が、5%ほど下がっています。早寝早起き、朝・夜の歯磨きの習慣づけが課題として挙げられます。長期休み明けに行っていいる生活リズム調べの項目を常に意識し、規則正しい習慣を身に着け、学校生活を元気に過ごしてほしいと思います。

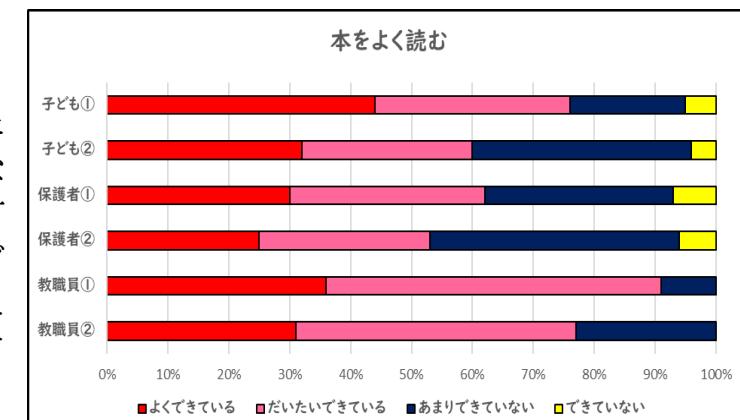
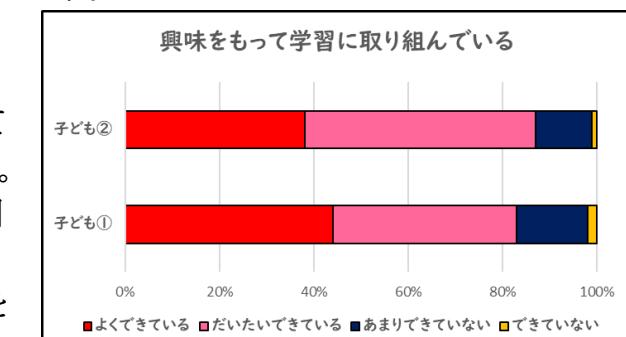
「進んで外遊びや運動をする」の子どもの実現度は、前回とほぼ同じ実現度となりました。運動委員会が学期に



1回ずつ運動するイベント(リレー大会、大縄、ねことねずみ)を企画し実行しました。普段あまり外に出て遊ばない子どもも、皆で一緒に体を動かし楽しむことができました。今後も、このような児童会と連携して、運動する機会を子どもたちと一緒に考えて、設けるようにしていきたいと思います。

<チャレンジしながら考えて話せる子ども>

全体的に前回よりも少し実現度が上がりました。学習に対して子どもたちは興味をもって取り組んでいる様子がうかがえます。今年度、「主体的・対話的で深い学びの充実による『対話力』『問題解決力』の育成」という研究主題で授業づくりを行ってきました。昨年度から続いている『対話力』に重点を置いた学習展開を積み重ねていったことが、「友だちと話すことで考えを深めていく」の実現度が5%上がった結果につながってきたのではないかと考えます。しかし、「課題や問題に自分から進んで取り組む」の実現度は、80%と他の項目に比べて低い値となっています。主体的に取り組むことができにくい子どももいる実態があります。子どもたちが自ら進んで学習に取り組むように、学習問題や学習展開をさらに工夫していきたいと思います。



【学校行事などについて、意見・感想などについて】

- 運動会では昨年は、全学年にリレー種目がありとてもよかったです。運動会が午前で終わるのがありがたい。
- 学校でのイベントはとても意欲的に取り組んでいる。運動会などでは一人ひとりが出れるものが多くあり、本人もとても嬉しいようだ。終わった後も達成感を感じているようだ。
- 公共交通機関を使っての水族館遠足、大変喜んでいた。難しいことかもしれないが、子どもたちの経験や学習のためにも外へ出ていく学習をこれからも増やしていただけたらと思う。
- 机上の学びも大切だが、課外学習が増えるといいと感じた。
- 授業参観が2日に分かれているとき、いつも兄弟がばらばらの日になるので、1日にまとめてあると嬉しい。
- 授業参観を一人ひとり、ゆっくり見たい。日程はなるべく、上のこと下の子で別日にしてもらいたい。
 - 今年度は、社会見学なども行くことができ、学校外での活動体験も増えました。教室の中だけでは実感できないことも、現地に行ったり、ゲストティーチャーからのお話を聞いたりすることで理解できることも多いと思います。それぞれの学年において、学習内容と照らし合わせて、校外の活動も検討していかなければと思います。
 - 授業参観につきましては、双方のご意見をいただきました。授業参観は年に数回ありますので、色々なやり方で行っていこうと考えています。
- 子どもたちが遊べる遊具や球技が幅狭くなっているのが気になる。元町小学校で過ごす子どもたちが色々なものが減っていくような縮小傾向の犠牲にならないようにしてほしい。
- 週1回、班で給食を食べるようになったと聞き、とても嬉しく思う。今の子どもたちは友だちと一緒に食べる機会が少なかったと思うので、今後そのような機会がもっと増えたらよいなと思う。
 - 体力作りを目指して、体を動かす場や機会を増やしていきたいと思います。児童会と連携しながら、子どもたちの思いを大切に、自主的に活動できる場を作りたいと思います。

【学校運営協議会より】

今回の学校評価アンケートの結果について、3月17日(月)の学校運営協議会理事会にて報告させていただきました。「まなび」「あんしんあんぜん」「ふれあい」の3つの部会に分かれて、話し合いました。皆様からは、貴重なご意見をいただきありがとうございました。来年度に向けて、検討していきます。今後も、子どもたちを見守り、元町教育にお力添えを頂ければ幸いです。